

広島ガンバ・コンソート 第17回発表会

イギリスコンソート音楽の

源流をたどる Vol.2

前回はフェラボスコ一世を取り上げましたが、今回は「イギリス音楽の父」と讃えられたウィリアム・バードのコンソート曲を中心に演奏いたします。
イギリス国教会による宗教統制の時代、王立礼拝堂楽員でありながらカトリックの信仰を貫いたバードはラテン語ミサやモテットの傑作を残しました。
また、エリザベス一世から楽譜出版販売の特許を受け、鍵盤音楽、ヴァイオルのためのファンタジア、歌曲など多岐にわたる自作を出版しました。

§ プログラム §

- ❖ ウィリアム・バード
(William Byrd, 1540/1543?-1623)
 - ・3声のミサ曲より
 - ・4声のファンタジア第1番
 - ・5声のインノミネ第5番
 - ・6声のパヴァーヌとガリアード
- ❖ M, マレ, J.S. バッハ など
ヴィオラ・ダ・ガンバの独奏曲 ほか



広島ガンバ・コンソート：
ヴィオラ・ダ・ガンバによるコンソート（同族楽器によるアンサンブル）を楽しんでいる愛好家グループです。

2026年 3月22日(日) 開演: 15:00 (開場 14:30)

会場

広島市己斐公民館 研修室1
広島市西区己斐中一丁目15-3
(JR「西広島駅」下車 北口から徒歩1分)

演奏

広島ガンバ・コンソート

<https://viol.jpn.org>

広島ガンバ・コンソート



入場
無料